

くらしの豊かさ実感に関するアンケート調査（抜粋版）

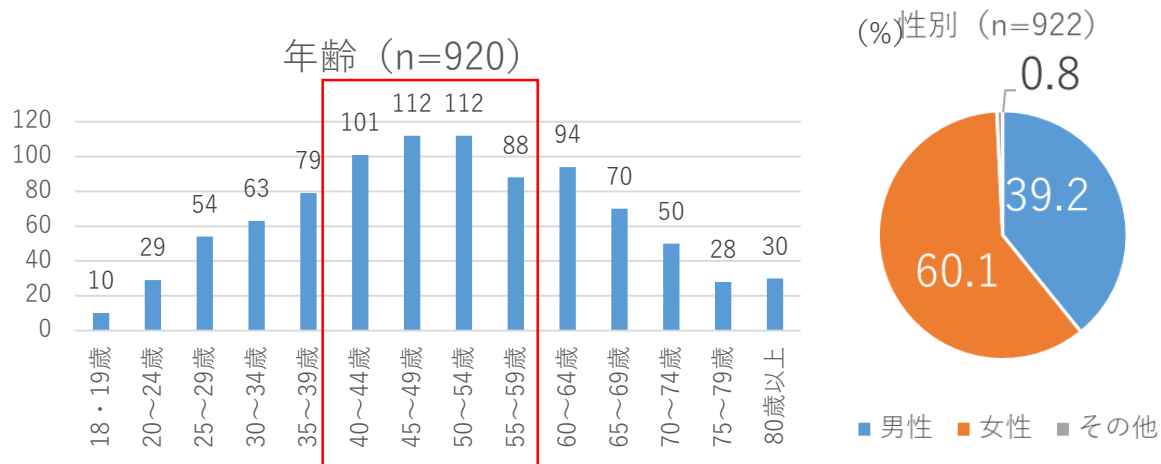
●調査目的

豊中に住む一人ひとりが“豊かに生きること”ができるまちの実現に向け、市民の生活の“豊かさ”の実感について、その実態・要因・効果などを把握・分析し、市民サービスの向上につなげる

●調査概要

- ①期 間 令和6年7月10日～7月31日
- ②方 法 郵送で案内。WEB回答
- ③対 象 住民基本台帳から無作為抽出した満18歳以上の市民7,000人
- ④設問数 31問、選択式、自由記述あり

●回収率 有効回答数930件 回答率13.3%



●6つの要素からWell-beingを検討

健康
体の調子のよさ

経済力
年収など
(効果に限度あり)

仕事
適度な労働時間
自分の裁量

家庭
パートナー
子ども

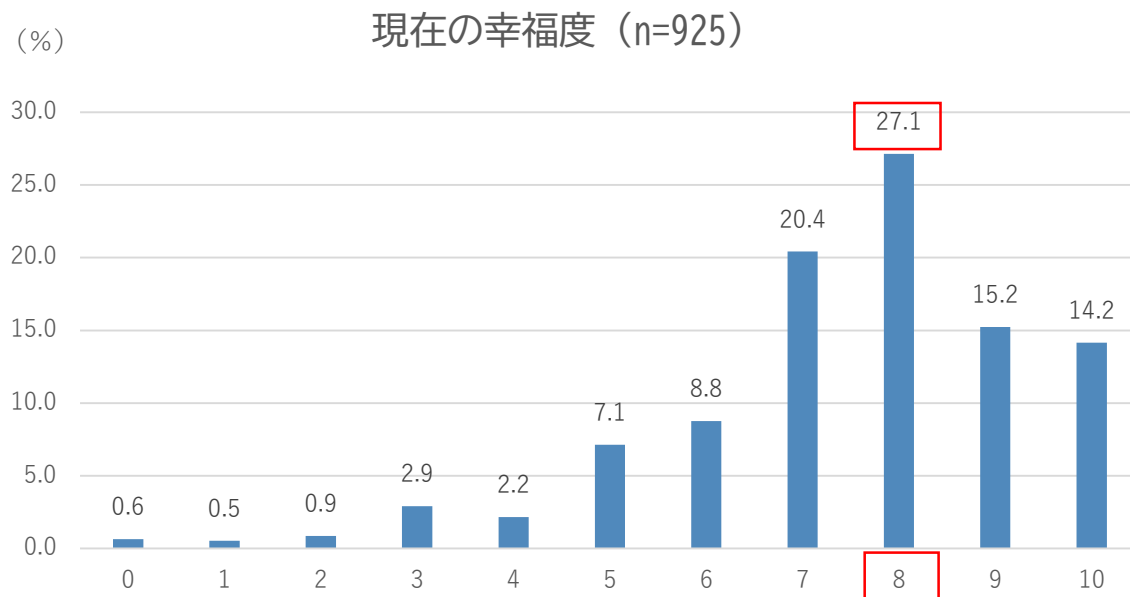
人とのつながり
助け合い

環境
自然環境へのアクセス

現在の幸福度と5年後の幸福度

【設問】現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

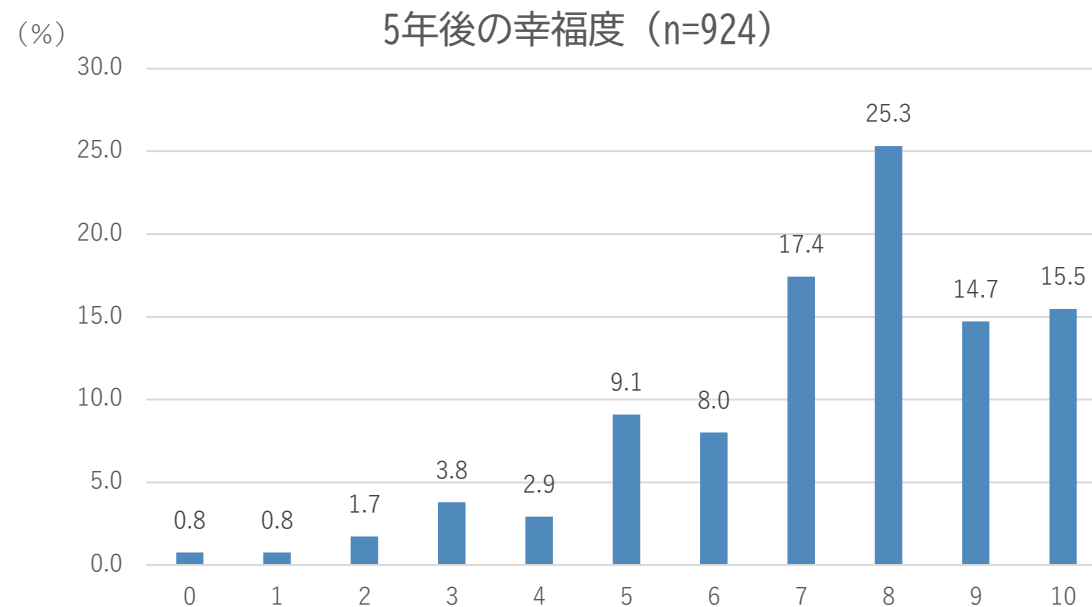
●平均値7.47 最頻値8であり、多くの人が幸せと回答している。



(参考) 大阪府全域の幸福度 平均6.5
出典：デジタル庁「地域幸福度指標」

【設問】今から5年後、あなたはどの程度幸せだと予想しますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

●平均値7.5で、年齢が上昇するにつれて、5年後の幸福度は下がっていく傾向

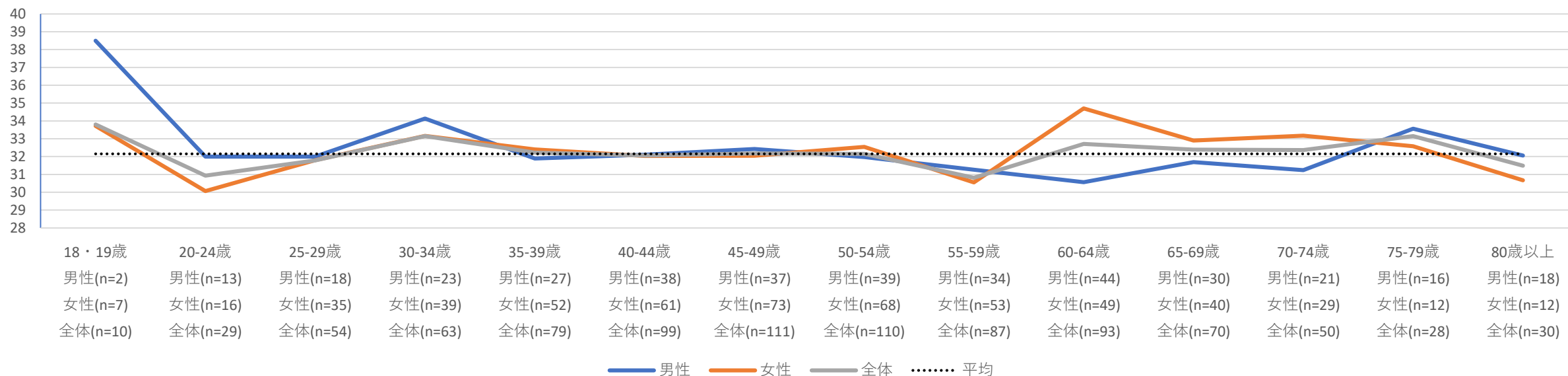


協調的幸福度

- 日本人の文化的特性を考慮した幸福度の尺度（自分だけでなく、他者の幸福を含んだ幸福度）
- 9つの問に5段階評価で回答した点数の合計（点数が高いほど幸福度が高い）

● 協調的幸福度とは、「自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちである」など、周囲の人と同じように幸福であることを測るもので、全体の平均値は45点満点中、32.2点。年齢や性別による大きな差は確認されなかった。

年齢別 協調的幸福度

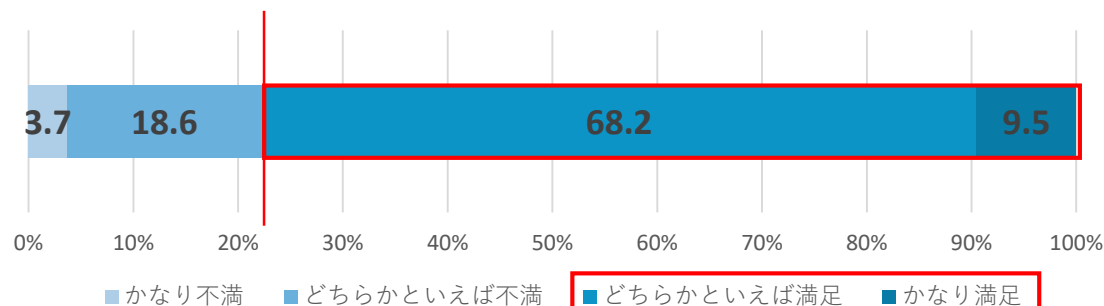


満足度

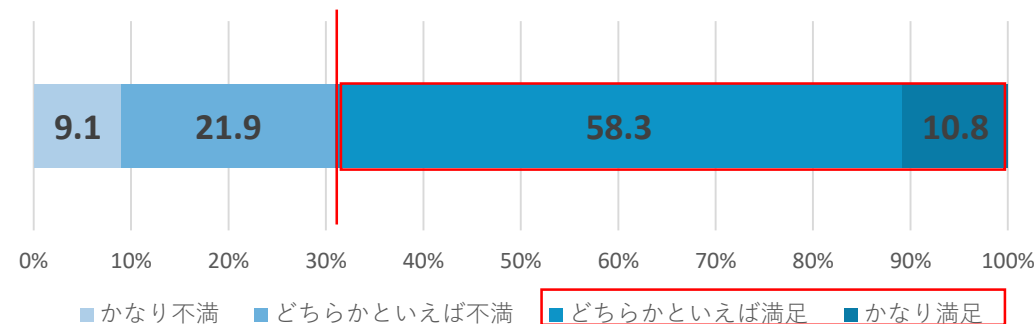
【設問】生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。
ア～エについて、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。
ア 近隣の人びととの関係 イ 現在の家計の状態 ウ 仕事（無職の場合は、仕事をしていない状況についてお答えください） エ 家族関係全体

- 生活満足度については、どちらかといえば満足以上の人が多い
- 特に、家族関係についての満足度は高い

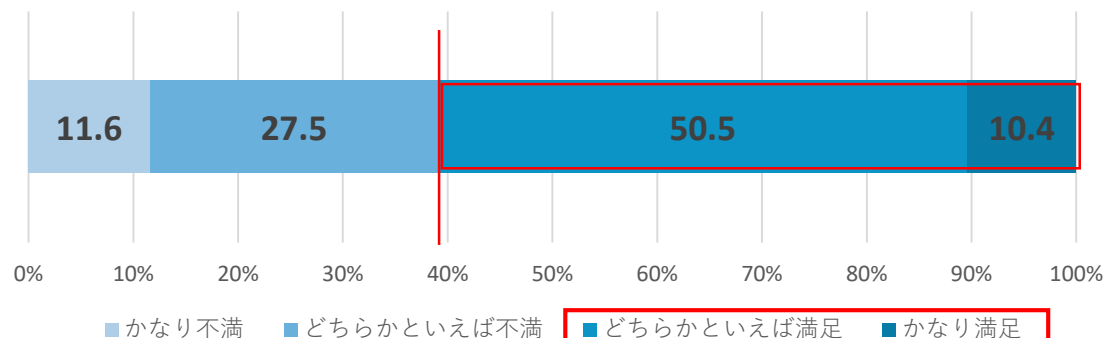
近隣の人びととの関係の満足度（n=924）



仕事（無職は、仕事をしていない状況）の満足度（n=906）



現在の家計の状況の満足度（n=923）



家族関係全体の満足度（n=913）

